

②福祉の未来

福祉の未来						
施策の基本方向/施策		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D	把握困難 －
1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. いきいきと暮らすための健康づくり	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
合 計	7	0 (0.0%)	5 (71.0%)	1 (14.0%)	1 (14.0%)	0 (0.0%)

- ・ 7の施策のうち5の施策が概ね順調との結果であったが、順調との結果になった施策はなかった。
- ・ 「4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり」においては、1施策において施策事業の改善、1施策については施策の見直しに取り組む必要がある。

1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実

施策コード	P2101		
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①それぞれのニーズに応じた福祉サービス・施設の充実	・個々の住民がそれぞれの意志・ニーズに基づき、適切な福祉サービスを受受できる福祉社会を目指します。 ・高齢者・障がい者の自立した生活支援のための環境整備の充実を図ります。 ・在宅で自立した生活を送り、地域で暮らし続けることを希望する住民のため、地域密着型の在宅福祉推進サービスの充実を図ります。 ・また、地域福祉の拠点となる福祉施設の充実やサービスの充実に努めます。	
■主な事業		■主な成果	
福祉課	食の自立支援事業、生活管理短期宿泊事業、自立支援協議会運営事業、障害福祉サービス給付等(居宅支援・施設支援・就労支援等)、介護保険事業(介護給付・予防給付)居宅サービス・介護予防サービス、地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)、地域支援事業(包括的支援事業)、市町村特別給付(おむつ購入費支給事業)、障がい者への理解浸透や支援拡大、在宅老人緊急通報体制整備事業、高齢者及び障がい者住宅改造助成事業、老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業、重度心身障がい者医療費給付事業、補装具費支給事業、自立支援医療【更正医療】給付事業、地域生活支援事業(障がい児タイムケア事業含む)、高齢者・障がい者虐待防止事業、施設サービス利用に係る利用者負担減免事業、老人福祉施設措置事業、利用者に対する情報提供	高齢者などの自立支援のため、おむつ購入費支援、食の自立支援、緊急通報体制整備などを行っている。おむつ購入費支援事業においては広く給付を行っており、給付率も増加傾向である。障害福祉サービス給付等について、依然としてニーズが高く、事業費は年々増加傾向である。	
■課題		■次年度への展開	
おむつ購入費支給事業は財源面で補助金等がなく、保険料で賄っている状況である。		おむつ購入費支給事業については、継続しながら給付上限等の見直しを行う。	

施策コード	P2102	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②地域で福祉を支えるための組織・人材づくりと活動支援	・緊急時も平常時も、地域で福祉を支えるための地域活動支援や人材育成を進めます。 ・介護する家庭の支援の充実を図ります。 ・ICT活用による高齢者・障がい者の見守り環境の充実を図ります。
■主な事業		■主な成果
福祉課	全地区でのサロンの設置・実施、老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業【再掲】、障がい者団体助成事業（身障者福祉会・手をつなぐ育成会等）、医療・介護・福祉関係者のネットワークの形成、在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立、避難行動要支援者名簿の充実と個別計画の作成、緊急時医療等情報カードの配置、福祉を支える人材の確保・支援、健康・福祉の地区の担い手の充実、福祉教育の充実、在宅ねたきり老人等介護手当、高齢者や障がい者を支える家族の支援	全地区でいきいきサロンを設置しているが、コロナの5類移行により徐々に実施再開の地区が増え、高齢者の健康増進につながっている。 八代市、郡市医師会と連携し、医療・介護・福祉による包括ケアシステムの構築を継続して行った。
■課題		■次年度への展開
・福祉向上に向けた人材確保について、専門的な知識を有する職員がいなかったため有効な手段の検討ができない。 ・在宅ねたきり老人等介護手当について受給資格を満たすことが難しい。 ・ペアレントメンターのなり手がいない。		・福祉関連事業者、社会福祉協議会や子ども会などの社会教育団体と連携を図る。 ・廃止に向けた検討を行う。 ・八代圏域で連携して養成事業等を実施し、参加してもらうよう周知を図る。

成果指標

指標名	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（R9）
要支援者の維持改善率（%）	50%	56					70%
障がい福祉サービス等利用者数（人）	107人	118					115人
ペアレントメンター養成講座受講者数	0人	0					2人

2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実

施策コード	P2201		
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①誰もがいきいきと活躍できる仕組みの充実	・高齢者・障がい者の生きがいづくりのため、多様な活躍の場を創出する仕組みと体制の充実を図ります。 ・また、高齢者・障がい者の積極的な社会参加を促す仕組みの充実を図ります。	
■主な事業		■主な成果	
福祉課	シルバー人材センター運営費補助事業、各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出、障害福祉サービス給付等（居宅支援・施設支援・就労支援等）【再掲】	障がい者が地域で自立した生活を送るためサービスのニーズは、依然高く、自立支援給付事業で、介護給付や訓練等給付を実施している。	
生涯学習課	ふれあい大学（高齢者学級）	高齢者の生きがいづくりの場としてニーズが高く、令和5年度は災害対策講座、振り込め詐欺等未然防止講座、人権講座、モルック大会、バスハイク等を実施した。	
■課題		■次年度への展開	
【生涯学習課】各地区老人会の会員減少により、活動自体に苦慮がみられる。		シルバー人材センター、老人会や区長等との協議により、活動の方向性を検討していく。	

成果指標

指標名	現状値（R3）	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（R9）
シルバー人材センター会員数（人）	66人	63					70人
ふれあい大学参加者数（講座1回あたり）	70人	76					100人

3. いきいきと暮らすための健康づくり

施策コード	P2301		
評価	施策の体系	施策の方針	
B	①健康寿命延伸のための予防・健診（検診）体制の充実	・子どもから高齢者まであらゆる世代の予防サービスとして、適切な健康診断受診体制や予防活動を重視した健康推進活動の充実を図ります。 ・住民健診のオンライン予約による受診率の向上や、データ活用による健康づくり支援環境の充実に取り組みます。 ・住民の包括的支援を可能とする情報共有システムの検討に取り組みます。	
■主な事業		■主な成果	
町民課	乳幼児健康診査、母子手帳交付・妊婦健康診査、住民健診（若者健診・特定健診・後期高齢者健診）、がん検診推進事業（子宮・乳がん検診）実施に関する業務、健診体制の整備と未受診者対策、医療費適正化事業、特定保健指導・重症化予防事業、歯科保健事業（歯の祭典を含む）、予防接種事業、食生活改善推進員協議会支援、メンタルヘルス相談事業	乳幼児健康診査では、医師をはじめ多職種が連携し、乳幼児期の発達の確認、健康の保持増進を図っており、受診率100%を継続した。また、特定健診受診率向上のため、医療機関の診療情報や受診勧奨ハガキ等を活用した取り組みを行った。また、医療費を抑制するためジェネリック医薬品の利用促進につながる周知を行い、ジェネリック医薬品のシェアが80.1%から81.5%へ1.4%増加した。	
福祉課	一般介護予防事業	特記なし	
■課題		■次年度への展開	
【町民課】受診勧奨の強化により未受診率の低下が伺える。また、自殺率が増加している。		【町民課】特定健診の受診率向上に向け、住民健診における予約制の導入等の新たな取り組みを実施する。また、保健指導においては対象者の個別性に対応した効果的で質の高い指導を提供していく。自殺の現状分析、施策見直しを行い、全庁一体となった自殺対策の推進が必要である。	

施策コード	P2302		
評価	施策の体系	施策の方針	
B	②生涯スポーツ活動の推進	・生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりを進められるよう、スポーツへの参加の機会創出やスポーツ施設の充実を図ります。	
■主な事業		■主な成果	
生涯学習課	スポーツ協会活動支援事業、住民のスポーツ活動推進、町民体育祭、地区スポーツ活動支援事業、既存の身近なスポーツ施設の充実、拠点的スポーツ施設の整備	町民体育祭において、グラウンド・ゴルフ大会で32地区館382名、カローリング大会で25地区館397名、陸上大会で32地区館1319名、モルック大会で29地区館211名、ふらばーるバレエ大会で23地区館326名、合わせて2635名が参加。合わせて地区スポーツ活動支援事業においてスポーツ推進委員を5件119名派遣した。	

■課 題	■次年度への展開
町民体育祭において、沢山の方に参加し喜んで頂くための競技内容や開催時期などの検討が必要。また、各施設の老朽化が見られる	アンケート調査等行い、大勢の町民に参加して頂けるような競技内容などを検討する。 施設の個別施設計画を策定し、施設の長寿命化を進める。

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
乳幼児健診受診率 (%)	98.50%	100					100%
特定健診受診率 (%)	48.40%	51.2					60%
身近なスポーツ施設利用者数 (延べ人数) (人)	80,000人	178,612					80,000人
スポーツ推進委員派遣数 (回)	4回	5					5回

4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり

施策コード		P2401	
評価		施策の体系	施策の方針
D		①人権問題に関する普及・啓発の充実と人権意識の向上	・すべての住民が正しく人権問題を理解するための人権問題に関する普及・啓発活動を進めます。
■主な事業		■主な成果	
総務課	人権問題に関する普及啓発の推進		人権作品募集を行ったほか、人権啓発集会には75名の参加があった。
■課題		■次年度への展開	
人権作品募集について、標語、書道、ポスターの3つの部門で募集しているが、標語については審査委員が選定に多くの時間を要している。また、審査委員会の構成員の中に人権啓発に関する専門的な知識を有した者がいないとの意見もある。		標語の部の廃止又は代替案を検討し、審査委員会の構成員については、町地域人権教育指導員を加える。	

施策コード		P2402	
評価		施策の体系	施策の方針
C		②男女共同参画社会づくり	・男女がともに社会参加できる庁内外の推進体制や環境づくりなど、男女共同参画社会づくりへ向けた取組を進めます。
■主な事業		■主な成果	
総務課	男女共同参画社会づくりの推進、男女共同参画社会づくり条例の制定		県男女共同参画センターのアドバイザー派遣事業を活用し、12月に男女共同参画推進懇話会委員と町職員を対象に「男性の育休取得、介護休業法について」をテーマとした研修を実施した。その後、町の前年度の取り組み事項について懇話会で報告を行い、今後の計画の策定方法や他団体の取り組みについて協議及び情報交換を行った。
■課題		■次年度への展開	
条例制定については、熊本県において既に男女共同参画推進における条例が示されており、各市町村において具体的な取り組みを男女共同参画推進計画にて示しているため、市町村において改めて条例を制定する必要性が見出せていない。男女共同参画推進計画に基づいて例年進捗管理及び事業を遂行しているため、指標見直しの検討及び計画推進を引き続き行っていく必要があると考える。		令和7年度予定の氷川町男女共同参画計画の見直しを予定しており、懇話会等を通して、町民の意見を反映させていく必要がある。また引き続き懇話会での計画の検証及び研修会等を実施することで計画の推進を図る。	

成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
氷川町人権啓発集会 参加者数 (人)	145人 (H30)	75					200人
男女平等であると思 う市民の割合 (%)	社会全体 : 19.1% (R2)	19.1					社会全体 : 30%
	学校教育の 場 : 60.6% (R2)	60.6					学校教育の 場 : 75.0%